令和5年度　新川みどり野高校　年間指導計画（シラバス）

学科	教科	科目（講座名）	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	公民	倫理	全	2	倫理 （東京書籍）	倫理ワークノート（東京書籍）

目標と評価規準		
	関心・意欲・態度	人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つ。
	思考・判断・表現	人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的に判断する。
	資料活用の技能	有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するように活用する。
	知識・理解	青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。

学期	月	単元	学習内容	到達度目標
前期	４月	第１章　青年期の課題と自己形成 １節　青年期の意義	①現代の青年 ②青年期の位置づけ ③青年期の特徴	・人生における青年期の位置づけや特徴などについて考え、青年期特有の課題であるモラトリアムとしての時期やアイデンティティの確立、自己実現の追求、自己理解の方法などについて理解する。
		２節　青年期の課題と生き方	①主体性の確立 ②自己理解 ③幸福と生きがい	
	５月	第２章　人間としての自覚 １節　人間とは何か ２節　ギリシャの思想	①人間と哲学 ①自然哲学とソフィスト ②ソクラテス ③プラトン ④アリストテレス ⑤ヘレニズム時代の思想	・ギリシャの三傑といわれる「ソクラテス・プラトン・アリストテレス」の生き方、考え方の違いを明確にしながら、ギリシャ思想について理解することができる。
	６月	３節　キリスト教	①旧約聖書の倫理 ②イエスの教え ③キリスト教の展開	・キリスト教とイスラーム、仏教の基本的な考え方だけでなく，歴史的な成立過程や発展、拡大の経緯についても理解することができる。 ・ユダヤ教とキリスト教、イスラーム教の特徴をまとめ、それぞれの違いを明確にすることができる。
		４節　イスラーム	①ムハンマドとイスラームの教え ②イスラームの展開	
		５節　仏教	①古代インドの思想 ②ブッダの思想 ③仏教の展開	・古代インドの思想からブッダが仏教を開くまでの歴史を理解することができる。 ・「慈悲」と「アガペー」の違いに着目しながら、仏教の特徴を理解することができる。
		６節　中国の思想	①孔子と儒家の思想 ②儒家思想の展開 ③老荘思想	・諸子百家とよばれる思想家が春秋戦国時代に登場した背景について理解することができる。 ・儒教と道教の特徴をまとめ、違いについて理解することができる。また、その後の中国思想の展開について理解を深めることができる。
		７節　芸術と人生	①自然や芸術との対話 ②創造的な鑑賞への誘い	・芸術（絵画・音楽など）の作品を通して、芸術家の考え方や生き方を学び、人間の心にもたらす豊かさや潤いなどに気付く。
	７月 ９月	第３章　国際社会に生きる日本人の自覚 １節　日本人の精神風土	①日本人の宗教観 ②日本人の倫理観	・豊かな自然環境と神との関わりについて、和辻哲郎の考えや「古事記」などから古代日本人のものの考え方を、精神風土との関係でとらえることができる。
後期	１０月	２節　仏教と日本人の思想形成	①仏教の受容 ②仏教の日本的展開 ③仏教と日本文化	・外来思想である仏教の受容や日本的仏教の特色や仏教と日本人の思想形成との関わり、無常観・美意識・武士道などにおける特色をとらえることができる。
		３節　儒教と日本人の思想形成	①儒教の受容 ②儒教の日本的展開	・儒教の日本的展開について、日本の朱子学や陽明学、古学、古文辞学などについて特徴をつかみ、違いを理解することができる。
		４節　国学の思想	①国学の形成と展開	・本居宣長の思想を中心に、国学の特色について理解する。
		５節　庶民の思想	①庶民の思想の発展 ②幕末の思想	・町人の思想や農民の思想、幕末の思想、西洋文化との接触から近世の日本思想について理解する。
		６節　西洋思想と日本人の近代化	①近代への啓蒙 ②国民道徳とキリスト教 ③近代的な自己の求め ④社会思想の展開 ⑤近代日本の創造的な思想	・西洋文化との接触後、啓蒙思想、自由民権思想、国家意識、キリスト教思想などと日本人の思想形成について理解する。 ・近代の代表的な作家や文学者の思想を通して、日本人が自己の内面的世界についてどのように思索したか理解する。
		７節　国際社会に生きる日本人の自覚	①戦後思想の動向 ②グローバル化と日本人	・主体的に生きる人間として国際社会における役割と責任を果たす日本人としての自覚について考えることができる。
		第４章　現代を生きる人間の倫理 １節　人間の尊厳の根拠を求めて ２節　民主社会と自由を求めて	①人間尊重へ向けて ②理性への信頼と懐疑 ③経験論と合理論の対話 ①社会契約説 ②人格の尊厳ーカント ③ヘーゲルの人倫の思想	・西洋の人間観と人間尊重の精神について、ルネサンスや宗教改革、合理的精神（ベーコンとデカルト）、モラリスト（モンテーニュとパスカル）、経験論と合理論の展開について理解することができる。 ・近代的な個人の自覚から、人間の在り方と社会との関係について，社会契約説（ホッブズ、ロック、ルソー）、カント、ヘーゲルの思想を理解し、考えを深めることができる。
	１１月			
	１２月	３節　社会変革の倫理を求めて ４節　新たな人間像を求めて	①功利主義 ②社会主義思想 ③実証主義と進化論 ④プラグマティズム ①主体性の回復を求めて ②現代の実存哲学 ③人間観と言語観の問いなおし	・功利主義や社会主義の思想を通じて、近代資本主義社会の問題とその克服について考えを深めることができる。 ・人間社会の変革の思想について、実証主義や進化論、プラグマティズムの思想を理解することができる。 ・人間や社会の在り方の急激な変化による近代的な理性への問いなおしとし、実存哲学やフランクフルト学派、構造主義など現代思想の人間観・言語観について理解することができる。
	１月	５節　自然や科学技術と人間とのかかわり ６節　民主社会の成熟のために	①近代的自然観 ②自然との調和 ①差別と偏見のない社会 ②社会参加と奉仕 ③公共性のための場を開く	・環境問題や生命に関わる倫理的課題の解決のために、畏敬の念を考慮しながら科学技術の基礎にある自然観について理解する。 ・民主社会の実現のために、あらゆる差別や偏見などの解決が求められること。また、それらとどのように関わっていくかを地域の特殊性を考慮し、日常の具体的事例に即して考えることができる。 ・現代社会における公共性の問題について、アーレント、ハーバーマス、ロールズ、センの思想について学習し、個人とコミュニティの関係について考えを深めることができる。 ・男女差別やフェミニズムやジェンダーについての課題や解消法について自分の考えをまとめることができる。
	２月	第５章　現代の課題を考える １節　生命 ２節　家族 ３節　地域社会 ４節　情報社会 ５節　文化と宗教 ６節　環境 ７節　国際平和と人類の福祉	①生命 ②家族 ③地域社会 ④情報社会 ⑤文化と宗教 ⑥環境 ⑦国際平和と人類の福祉	・今日の生命や死、医療の問題、核家族や新しい家族形態、少子高齢化・高齢社会、地域社会の在り方、情報社会のメディア・リテラシー、グローバル社会における文化と宗教の在り方、持続可能な社会のために必要な在り方、未来の福祉と世界の平和について、課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら理解を深めることができる。